

科目コード					担当者氏名	教育学研究科・教授・稲垣恭子				
授業科目名 (英訳)	特殊講義									
配当学年		単位数	2	開講期	後期	曜時限	水・3	授業形態	講義	
題 目	歴史社会学									
〔授業の概要・目的〕										
<p>感情の社会学、歴史社会学研究は、この20数年の間に展開し、とくに近年ではエリアスとホックシールドに影響を受けてさまざまな感情と感情管理について研究がすすめられている。しかし、教育社会学の分野においては必ずしも感情社会的なアプローチはさほど多くない。</p>										
〔授業計画と内容〕										
<p>本授業では、感情社会学、歴史社会学に関するいくつかの論文、著作をとりあげて輪読しながら、教育と感情の歴史社会学の可能性を考える。</p> <p>感情の社会的形成や機能については、近年、社会学、歴史学（文化史、社会史）など幅広い領域で研究が蓄積されつつある。授業では、初回にオリエンテーションと文献の紹介を行なったあと、まず近年の研究の動向について文献をレビューし、多様な視点とアプローチについて検討する（2～7週）。また、個別のいくつかの感情について具体的にとりあげた文献について、とくに教育と関連づけて検討・議論する（8～12週）。これらを総合して、教育社会学における感情社会的アプローチの可能性について議論する（13～14週）。</p>										
〔履修要件〕										
とくになし。										
〔成績評価の方法・基準〕										
出席および授業時の報告担当とレポートによる総合評価。										
〔教科書〕										
使用しない。										
〔参考書等〕										
文献については授業時に指示する。										
〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕										
オフィスアワーはとくに設定していないので、質問・相談は随時で結構です。										